事業所名

きつずTREE 放課後等デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

23日

法人（事業所）理念		利用者様の意志及び人格を尊重し、利用者様の立場に立った適切な指定通所支援の提供をします。利用者様一人一人のニーズに合わせて生活能力向上の為に必要な訓練を行い且つ集団生活に適応できるよう支援を行います。										
支援方針		発達の遅れや心身に不安のある就学前のお子様及び18歳未満の就学されているお子様を対象とし、基本的動作や集団生活への適応訓練により心身の発達を促す目的としています。又本事業が地域の社会資源として有効なものであると認識されるように努めると共に保護者様に対しては療育・家族支援・子育て支援に関わる総合的なサポート（相談、支援、援助）を行うことにより精神的負担の軽減に尽力します。										
営業時間		午前	15時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	検温、挨拶、着替え、トイレの使い方、手洗い、クッキング、食事時のマナー、片付け、姿勢（体幹）の支援等										
	運動・感覚	ラジオ体操、エビカニクス、ヨガ体操、散歩、公園で遊ぶ、課題中の姿勢、工作、手芸、陶芸等										
	認知・行動	一日の予定の確認、ルールのある遊び、視覚的なルールの支援等										
	言語・コミュニケーション	挨拶、職員室への物の貸し借り、集団遊び、絵カードやジェスチャーでのやり取り、自分の気持ちを発信する、相手の気持ちを読み取る等										
	人間関係・社会性	子供の特性を理解して関わり方がわかる職員が子供達を繋ぐ時間を作る。自分と違う人との関わりを経験しコミュニケーション能力や相手の意図を理解したり折り合いをつけながら、目標や目的に向かい共同で取り組む。遊びの相談を通して自分のやりたい遊びを発表しながら、友達や職員と楽しめる遊びを皆で考えて決める。集団遊び、工作、クッキング等を皆でしながらしながら友達や職員などと取り組むと、楽しさも倍増する経験を繰り返す。										
家族支援		送迎時に普段の様子をお伝えする以外にも半年に一回、本児の様子を書式にまとめ保護者に面接をして（1時間程）きつずでの様子を伝え、相談や質問等あれば職員（心理士、保育士等）が対応している。4か月に一度きつずでの様子が見えるように写真を渡している。						移行支援	療育センターや医療機関、計画相談員と連携している。			
地域支援・地域連携		小児科医との連携。ヨガ体操、陶芸教室の親子参加						職員の質の向上	小児科医とのケース検討会、事業所内研修、外部研修への参加			
主な行事等		長期休暇の遠足、図書館、文化センター、芋ほり、クリスマス会。毎月のクッキング、ヨガの先生を招いてのヨガ教室。										